

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	関根 薫	電 話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4071		事務事業名称	青少年施設運営管理事業					短縮コード	経常	4071	臨時	4072
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	青少年対策費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		○八千代市青年館設置及び管理に関する条例 ○八千代市「ガキ大将の森」キャンプ場の設置及び管理に関する条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
○青年館／県の補助を受けて昭和39年度から設置が進められてきた。青少年の健全育成及び地域社会における福祉活動の促進のため、青少年や青少年を健全に育成することを目的とする団体、地域住民等の研修、集会等の場所を提供する。 ○ガキ大将の森キャンプ場／子ども達が野外での共同生活を通して絆を深めたり、少年リーダーとしての指導力を身に付けるための施設。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
○青年館／現在建っている4館の内3館は昭和40年代に建てられている。近年は青少年層の減少や社会情勢、生活環境の急激な変化により青少年の利用は少なくなっている。しかし、地域の公共的な施設としての役割も担っており、地域住民に活用されている。ただし、老朽化が進んでおり、当面の使用に支障はないが、根本的な修繕や耐震補強は出来ない状況である。 ○ガキ大将の森キャンプ場／開設より20年以上経っており、キャビンや管理棟の老朽化が進んでいる。しかし、市内に少年を対象とした野外活動施設は少ないため、今後も利用希望者が大幅に減少することはないと思われる。（21年度はインフルエンザのためキャンセルが多く、利用人数が少なかった。）					大項目（節）	03	青少年健全育成						
					中 項 目	01	青少年健全育成						
					小項目（施策）	01	青少年健全育成基盤の整備						
					細 項 目	01	健全育成体制の充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○八千代市内の青年館（勝田・小板橋・阿蘇・下町） ○八千代市「ガキ大将の森」キャンプ場 ○青年館・ガキ大将の森キャンプ場の利用者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 青年館及びガキ大将の森キャンプ場を使用可能な状態に保つため、建物の維持管理、修繕、管理補助業務委託（ガキ大将の森）、浄化槽維持管理委託等を行った。							
	※平成22年度に計画していること： 青年館及びガキ大将の森キャンプ場を使用可能な状態に保つため、建物の維持管理、修繕、管理補助業務委託（ガキ大将の森）、浄化槽維持管理委託等を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	○青年館／青少年の健全育成及び地域社会における福祉活動の促進のため、青少年や青少年を健全に育成することを目的とする団体、地域住民等の研修、集会等の場所を提供する。 ○ガキ大将の森キャンプ場／青少年の健全育成を図るため、野外活動体験のできる場を提供する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	青年館の数	館	4	4	4	4	
	指標 2	ガキ大将の森キャンプ場	施設	1	1	1	1	
	指標 3							
活動指標	指標 1	施設の維持管理費	千円	4, 042	4, 267	4, 135	4, 530	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	青年館の総利用人数	人	3, 890	3, 400	4, 395	4, 000	
	指標 2	ガキ大将の森キャンプ場の総利用人数	人	3, 094	3, 000	2, 024	3, 000	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4071	事務事業名称	青少年施設運営管理事業				所属名	青少年課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			両施設とも老朽化が進んでいるが、青年館については地域の公共的な集会施設として、ガキ大将の森キャンプ場については市内唯一の野外活動施設として利用されていることから、使用可能な状態に保つため継続して運営管理して行く。 ただし、青年館については、老朽化を見据えた今後の使用計画を考えていく必要があると思われる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			老朽化が進んでいるため、修繕費用も増加していくことが予想される。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
施設の老朽化にともなう修理等の要望が主なものである。									

所属長コメント	青年館は、今では青少年の健全育成の場として利用することも少なくなり、地域住民の研修・集会などの場として、定期的に利用され地域活動に必要とされている。また、ガキ大将の森キャンプ場は、自然体験や野外活動ができ、青少年育成団体や家族連れに多く利用され、健全育成の場として提供できた。青年館及びガキ大将の森キャンプ場の両施設とも老朽化が進んでおり、修繕費用がかさむ心配があるが、利用者が多いことから、今後も安全面を管理しながら事業を推進していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									